



# 目 次

第1章 アルミニウムとその合金 .....	9
1・1 緒論 .....	9
1・2 合金の名称と成分 .....	9
1・3 添加元素の影響 .....	12
1・4 アルミ合金の加工硬化と軟化・熱処理 .....	14
1・5 アルミおよびアルミ合金調質記号 .....	15
1・6 熔接の基本的諸問題 .....	26
1・6・1 熔剤の反応 .....	26
1・6・2 熔剤の組成 .....	29
1・6・3 ガス反応 .....	31
1・6・4 熔剤の一般的な使用方法 .....	33
1・6・5 熔接棒 .....	34
1・6・6 熔接前処理 .....	35
1・6・7 開先 .....	36
1・7 ガス熔接 .....	37
1・8 アーク熔接 .....	39
1・9 不活性ガス金属アーカー熔接 .....	40
1・10 点熔接 .....	42
1・10・1 健全な点熔接 .....	43
1・10・2 表面処理 .....	46
1・10・3 電極 .....	51
1・10・4 現場における実際作業 .....	52

1・10・5 熔接部の強度 .....	58
1・10・6 縫合熔接 .....	59
<b>第2章 マグネシウムとその合金 .....</b>	<b>61</b>
2・1 緒 論 .....	61
2・2 基本的諸性質 .....	61
2・3 マグネシウム合金 .....	63
2・4 熔接部の冶金 .....	65
2・5 組成の影響 .....	65
2・6 清浄化と化学処理 .....	66
2・7 熔 剤 .....	68
2・8 熔 加 材 .....	70
2・9 酸素アセチレン熔接 .....	71
2・10 鐵 付 け .....	74
2・11 ハンダ付け .....	76
2・12 不活性ガスアーク熔接 .....	77
2・13 点 熔 接 .....	84
2・14 その他の熔接方法 .....	90
2・15 鋸物の熔接 .....	91
2・16 応力除去 .....	94
<b>第3章 銅とその合金 .....</b>	<b>96</b>
3・1 緒 論 .....	96
3・2 銅およびその合金 .....	97
3・2・1 銅 .....	97
3・2・2 黄銅(真鍮) .....	98
3・2・3 特殊黄銅 .....	100

目  
次

3・2・4 硅素青銅	101
3・2・5 銀青銅	102
3・2・6 アルミニウム青銅	102
3・2・7 ニッケル青銅	104
3・2・8 洋銀	105
3・2・9 ベリリウム青銅	106
<b>3・3 銅の熔接における基本的因素</b>	<b>107</b>
<b>3・4 ガス熔接</b>	<b>114</b>
3・4・1 緒論	114
3・4・2 銅	114
3・4・3 黄銅(真鍮)低亜鉛黄銅	117
3・4・4 硅素青銅	118
3・4・5 銀青銅	118
3・4・6 アルミニウム青銅	119
3・4・7 ニッケル青銅	119
3・4・8 洋銀	119
3・4・9 ベリリウム青銅	119
3・4・10 異種金属	120
<b>3・5 炭素アーク熔接</b>	<b>120</b>
3・5・1 銅	120
3・5・2 黄銅(真鍮)	121
3・5・3 硅素青銅	122
3・5・4 アルミニウム青銅	122
3・5・5 ベリリウム青銅	123
3・5・6 異種金属の熔接	123
<b>3・6 被覆金属アーク熔接</b>	<b>124</b>
3・6・1 緒論	124

## 目 次

3・6・2 銅	127
3・6・3 黄 銅	127
3・6・4 硅素青銅	127
3・6・5 磷 青 銅	128
3・6・6 アルミニウム青銅	128
3・6・7 ニッケル青銅	129
3・6・8 ベリリウム青銅	130
3・6・9 異種金属	131
3・7 サブマージドアーク熔接	131
3・7・1 緒 論	131
3・7・2 銅	131
3・7・3 黄 銅	132
3・7・4 硅素青銅	132
3・7・5 磷青銅その他の合金	133
3・8 不活性ガスアーク熔接	134
3・8・1 緒 論	134
3・8・2 銅	134
3・8・3 銅 合 金	138
3・9 抵抗熔接	139
3・9・1 緒 論	139
3・9・2 銅	140
3・9・3 黄 銅	140
3・9・4 硅素青銅	142
3・9・5 アルミニウム青銅(加工硬化型)	142
3・9・6 突起熔接	142
3・9・7 縫合熔接	142
3・9・8 火花突合せおよびアプセットバット熔接	142

## 目 次

第4章 ニッケルとその合金	143
4・1 緒 論	143
4・2 熔接の基本的諸問題	151
4・2・1 熔解点と熱容量	152
4・2・2 酸 化	152
4・2・3 硫黄の影響	152
4・2・4 気孔の傾向	153
4・2・5 热膨張と収縮	153
4・2・6 割れの傾向	153
4・2・7 諸性質に及ぼす熔接の影響	154
4・2・8 熔接方法の選択	155
4・2・9 熔接前処理	156
4・2・10 開 先	156
4・2・11 治具および熔接後の仕上げ	161
4・3 酸素アセチレン熔接	162
4・3・1 熔 剤	163
4・3・2 熔 加 材	163
4・4 鑄 付 け	164
4・4・1 洗 漂	164
4・4・2 鑄 材	166
4・4・3 ハンダ付け	166
4・5 被覆金属アーク熔接	167
4・6 原子水素熔接	169
4・7 サブマージドアーク熔接	169
4・8 不活性ガスアーク熔接	169
4・9 無水炭酸ガスアーク熔接	171

## 目 次

4•10 点 熔 接.....	173
4•11 火花熔接.....	181
4•12 热 处 理.....	181
4•13 檢 查.....	182
4•14 ニッケルおよび高ニッケル合金の肉盛り .....	182
参考文献 .....	185

